

# 「地域、顧客から更なる信頼を」

## 久保建材工業社長 久保陽一氏

久保建材工業(かほく市高松)は今年で創立30周年を迎えた。

久保陽一代表取締役社長はこれまでの歩みを振り返る中で「決して良いことだけではなかったが、顧客や従業員に恵まれたお陰で30年にわたり事業を継続することができた」と話した。

1992(平成4)年6月、26歳で起業。ダンプ3台で砕石

運搬からスタートし、現在は重

機や建設資材などの一般貨物運

送に加え、土木工事業も担う。

創業以来、従業員の安全教育に

最も力を入れ、全日本トラック協会の安全性優良事業所(Gマーク事業所)の認定や、県内企業では先駆的に国際規格「IS

Ishikawa  
かがやき人  
2022



## ダンプ3台でスタート 創立30周年を迎える

039001(道路交通安全マネジメントシステム)RTSM規格)の認証登録も受けているが、「一つの重大事故発生で全ての信頼を失う。事故『ゼロ』を掲げ、従業員とともに努力を続けていく」と強調する。

長年、建設業界に携わってきたが「本当に難しい時代。臨機応変に対応するしかない」と率直に話す。また、人材確保・育成も経営課題の一つであるが「入社した若手社員の成長が著しく、社内の年齢構成もバランスがよい。今が一番安定している」と目を細め、「これまで以上に地域、顧客から信頼される企業を目指して邁進したい」と語った。